

あゆみ保育園だより



暖かな春の風に誘われて、新年度がスタートしました。この春入園する子どもたちは、初めての園生活、初めての先生、そしてお友達との出会いと「はじめて」がいっぱいです。これからお友達と一緒に、楽しいこと、嬉しいこと、悔しいこと、色々な思いを感じながら成長していくと思います。そんな子どもたちの思いを受けとめ、一人ひとりが輝けるような保育園にしていきたいと思っています。

あゆみ保育園 園長 瀨中美穂



在宅通信



あまり知られていない（かもしれない）在宅課の仕事を紹介していきます！

みなさんは包括支援センターをご存知でしょうか？

包括支援センターの大きな役割の一つは**早めに介護予防を行い、そもそも介護が必要になること自体を遠ざけること**にあります。自宅で生活を続けたい高齢の方などに対し介護保険の使い方を案内、自宅で一人でも生活していけるよう支援などをいたします。

その他にも訪問販売被害、虐待、一人暮らしの高齢者が心配、病院退院後の不安 etc・・・このようさまざまな相談を無料で行う高齢者のための総合相談窓口です。

そして、2月にはオレンジカフェ（認知症カフェ）の主催をさせていただきました。

オレンジカフェとは、「家族が認知症になってしまった！どう接したらいいかわからない！」などの悩みを抱えた方々に、コーヒーなどを飲みながら気軽に、自由に話をしていただき、同じ悩みを抱えた方から「うちではこうしている。」などのアドバイスを交換したり、専門家の話を聴くことができるイベントです。病院で聴くようなカたい話ばかりではなく、実際に同じ問題に直面している方々の身近な話から「そんな簡単だったんだ！」と見えてくることがあります。

その他にも、「認知症サポーター養成講座」を開催しています。興味のある方はお気軽にご質問ください。

在宅課 出目基



ショートステイ



あゆみえんショートステイでは毎月、さまざまなイベントを実施しています。12月にはクリスマスにちなんで、クリスマスケーキをみなさんで作りました。

「今日は何を乗せるの?やっぱり、イチゴかな?私、イチゴ大好きなのよ」、生クリームを塗っていく作業では「私はたっぷり派だわ」、「いやいや、これは綺麗に薄く塗っていくのがいいのよ」と、一方は食べることで、一方は見た目をこだわり、その人、その人の個性を出し合いながら、完成に向けて取り組まれていました。

最後にイチゴを乗せるときには「これだけでも美味しいのね」と一言ご利用者が仰ると、みなさん、笑いながら最終作業を終えました。

みなさん、一緒にケーキを召し上がった際には「好きなドリンクまで選べて、お店に来た気分だわ」、「やっぱり、なんとと言っても自分で作る料理は美味しいわよね」と想い、想いにフォークを進められていました。

今年度は始まったばかりですが、『平成』はあと一ヶ月。新年号になっても、みなさんを飽きさせないショートステイを続けていきたいと思えます。

介護2課 課長 岸田和代

デイサービスセンター

あゆみえんです!

デイサービスセンターあゆみえんでは個別機能訓練の一環として、デイサービス内だけでなく個別機能訓練外出も計画し、実施しています。

チューリップ祭り見学や100円ショップでの買い物など、さまざま場所へ出かけ、歩行訓練や計算といった実践的な訓練を行っています。

今年度もさまざまな個別機能訓練を計画しております。ご利用者のみなさまに楽しみながら個別機能訓練を実施していただけるよう努めてまいりますので、よろしくお願いたします。

介護1課 荒木あづさ



おしえて! EPA!

4期生インタビュー

EPA 4期生

介護3課：フィットリさん

介護4課：チャンさん

介護5課：アシーさん

聞き手：介護5課 武藤桃子

Q1 どうしてEPA候補生として日本に来ようと思ったんですか？

アシー：大学生の時に日本で長く働きたいと思っていて、EPAのプログラムを知り日本に行きたいと思いました。

チャン：私はインドネシアでICUでナースとして4年働いていました。でも、日本に行って介護の知識や経験を学びたいと思い日本に来ました。

Q2 実際に働いてみてどうですか？

フィットリ：言葉が難しいです。方言が難しい。利用者さんの言葉がわからない時があります。

チャン：私も言葉が難しいと思います。私の日本語が利用者さんに通じているか心配です。

アシー：生活や文化が違うので、慣れないことが多いです。でも日本に来てうれしいです。

Q3 あゆみえんを選んだ理由はなんですか？

アシー：違う施設ではジルバブを被ってはいけないと言われてました。徳心会は被って仕事してもOKでした。私たちにあってジルバブを被ることはとても大事なことです。理事長もインドネシア語ができてとてもいい施設だと思いました。

Q4 日本に来てびっくりしたことは？

アシー：町がきれい。ごみの捨て方が細かくてすごいと思います。インドネシアはみんな一緒ですから。あと時間を守るところはすごいと思いました。

フィットリ：味にびっくりしました。辛いが好きなので薄いと感じました。

チャン：冬があることにびっくりしました。とても寒くてびっくりです。まだ

雪を見たことが無いので見たいです。

Q5 休みの日は何をしていますか？

チャン：近くのダイソーによく行きます。

アシー：私は家でゴロゴロリラックスします。

フィットリ：ご飯を作ったりしています。私も家でゆっくりすることが多いです。でもディズニーランドには行ってみたいです。

アシー：私も行ってみたいです。

Q6 最後に将来の夢はなんですか？

フィットリ：国家試験に合格することです。

アシー：日本で長く仕事がしたいと思います。

チャン：日本で働いて、お金持ちになって日本人と結婚したいです。(笑)



チャンさん



フィットリさん

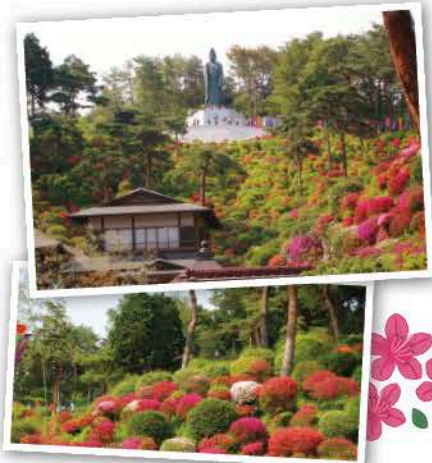


アシーさん

あゆみえんに来られた際、ちょっと寄ってみませんか！

せっかく青梅に来られたのだから、青梅のお花を鑑賞されリフレッシュされませんか？青梅にはつつじで有名な塩船観音寺があります。室町時代に建立された本堂を囲み、すり鉢状の斜面に1万7千本のつつじが咲き誇り、毎年4月中旬から5月上旬にはつつじ祭りが開催されます。5月下旬ころまで楽しめますが、こちらを逃してしまった方は、6月上旬から6月下旬の800株のあじさいも見ものです。また、塩船観音寺の近くでは、5月下旬から6月下旬にかけ吹上しょうぶ公園も見ごろとなります。こちらは、200品種以上の花菖蒲が咲き誇り、私たちの目を楽しませてくれます。ぜひ足を伸ばしてみませんか。

※塩船観音寺のつつじ祭りの間は入山料、吹上はなしょうぶまつりの間は入園料が掛かります。交通機関や見ごろの詳細については、青梅観光協会のホームページをご覧ください。相談課 宮川圭子



□ あゆみえんインフォメーション □

詳しいお問い合わせは、あゆみえん、相談課まで
電話 0428-30-5550

あゆみ VOL.91

発行 社会福祉法人 徳心会
特別養護老人ホーム あゆみえん 広報委員会
〒198-0024 青梅市新町9丁目2153番地3
TEL.0428-30-5550 FAX.0428-30-5570

発行人 園長 沖野正宏
編集人 広報委員長 沖野正宏
発行日 平成31年4月20日
E-mail ayumien@tokushinkai.jp
H P http://www.tokushinkai.jp/



春の青梅は花粉症の私には非常に厳しいものがあります。景色も良く、絶好のお花見日和の中、みなさまはどういった春を満喫されていますか？春は卒業・入学のシーズンです。出会いや別れを繰り返し、人間は成長するものなのかなとしみじみ思います。あゆみ保育園でも新しい園児が元気に入園しました。遊びに行くのを楽しみにしています。あゆみ91号を読んでいただきありがとうございます。

介護3課 課長 石井美正
イラスト：介護4課 久保田萌奈

※写真につきましては、ご利用者およびご家族の了解を得て掲載しております。